



北アフリカ地域ニュース

エジプト：中東和平

(5月11日付現地各紙)

1. 5月10日、ムバーラク・エジプト大統領は、カイロを訪問したリブニ・イスラエル外相と会談し、中東和平プロセスの再開、バイルート・アラブ・サミットで提案されたアラブ和平イニシアティブに対するイスラエルの立場について話し合った。同会談には、アブルゲイト外相及びコーヘン駐エジプト・イスラエル大使が同席した。
又、同日、エジプト、ヨルダン、イスラエルの外相による三者会談が行われた。
2. 同会談後のリブニ外相の声明（要旨）：
 - (1) ムバーラク大統領との会談では、パレスチナ・イスラエルの和平プロセス前進に向けて有意義な話し合いを行った。
 - (2) アラブ諸国は、和平協定の合意に繋がる新提案を行うことにより、パレスチナとイスラエルの和平達成に協力してくれると信じている。
 - (3) アブルゲイト・エジプト外相及びハティーブ・ヨルダン外相との会談は、準備会合であったが、歴史的なものであった。同様のものが、数週間以内にイスラエルで開催されることを望む。
3. アブルゲイト・エジプト外相の発言：
 - (1) 今回の会談は、アラブ和平イニシアティブに対する支持取り付けの為に和平プロセス関係者が話し合った4月18日会合のフォローアップ委員会の一環として実施され、アラブ和平イニシアティブに関しアラブとイスラエル間の対話を開始し、中東和平プロセスを前進させるものとなった。
 - (2) アラブ諸国は、1967年以来続くアラブ領土に対するイスラエルの占領を終結させるために、アラブ・イスラエル紛争の包括的解決に向けた努力を開始する重要性を合意している。
 - (3) アラブ側は、声をそろえて和平に対する見方を示している。
4. ハティーブ・ヨルダン外相の発言：
 - (1) 今回の会合は、アラブ和平イニシアティブのフォローアップ委員会の枠組みに沿って実施された。
 - (2) フォローアップ委員会は、アラブ諸国の立場を伝えるために、エジプトとヨルダンに対し、直接イスラエルとの接触を委任した。